

バックナンバーはこちら(中小機構四国WEBサイト内)

→<http://www.smrj.go.jp/shikoku/area/089673.html>



【今月号の目次】

(1) 【今年度第3回目の事業計画認定】・・・P.1・2

[地域資源]

(徳島県) 株式会社阿波市場

(徳島県) 池田薬草株式会社

(徳島県) 株式会社Nepari

(香川県) 株式会社ブラン

(愛媛県) 三洋興産株式会社

(高知県) 有限会社和

[農商工連携]

(愛媛県) 大西水産有限会社

(2) 【認定事業者紹介】・・・P.3・4

◆株式会社宮崎椅子製作所が日経スペシャル「夢織人」に登場！

◆えいら株式会社がいよてつ高島屋で

認定商品・真珠貝のグリッシーニを先行販売！

(3) 【イベント報告】・・・P.5

ソーシャルメディア時代の広報・PR&クラウドファンディングセミナーを開催しました

(4) 【施策情報】・・・P.4・5・6

◆高松でミャンマー会 in 四国を開催します

◆高松で地域密着型金融に関するシンポジウムを開催します

◆地域資源活用・農商工連携の補助事業の公募を行っています

中小企業地域資源活用促進法等に基づき7件の事業計画が認定されました！

このたび2月3日付で中小企業地域資源活用促進法、農商工等連携促進法に基づき計7件の事業計画が認定され、四国経済産業局において認定書交付式が行われました。今回認定を受けられた各社の「概要」や「今後の抱負」をご紹介します。

【企業概要について】

- ①代表者氏名 ②所在地 ③資本金 ④従業員数
⑤設立年 ⑥事業内容 ⑦共同申請者or連携参加者

【徳島県】株式会社阿波市場



①代表取締役 上野 伸介 ②徳島県徳島市中昭和町4丁目61番地2 ③50,000千円 ④22名 ⑤2008年 ⑥鳴門わかめの加工・販売

【認定事業】

鳴門わかめのメカブが持つ有効成分を活用した健康飲料の開発・製造・販売

<今後の抱負>

弊社は鳴門わかめの一般的に流通度の低い部位であるメカブや莖について加工の研究に取り組んで参りました。メカブの有効成分に着目し、メカブエキスを含む健康飲料の商品化に取り組んでおります。鳴門わかめの商品バリエーションが広がり、鳴門わかめの認知度のより一層の向上、産地としての地域ブランド価値の向上に努めて参ります。

さんぽう通信

認定書交付式

認定事業者紹介

イベント報告

中小企業施策

【徳島県】池田薬草株式会社



①代表取締役 中村 俊洋 ②徳島県三好市池田町中津
中津1808-1 ③99,800千円 ④26名 ⑤1984年 ⑥医薬
品原薬製造

【認定事業】

徳島県産すだち果皮を活用したスダチ果皮エキス及びス
ダチ果皮エキスを活用した加工食品の開発・製造・販売

<今後の抱負>

当社の売上の90%以上は、医薬品原薬や健康食品向
け原料バルクの受託製造が占めています。今後は、地域
資源であるすだちの果皮に含まれる特有な機能性成分ス
ダチチンに着目したサプリメントや青汁を開発・製造・販売
します。本事業により、受託依存型企業から情報発信型の
メーカーへと、ビジネスモデルの転換を図ります。

【徳島県】株式会社Nepari



①代表取締役 今村 明人 ②徳島県三好市池田町中西
テンジン458番地 ③3,000千円 ④6名 ⑤2012年 ⑥ミツ
マタの栽培・加工

【認定事業】

ミツマタを活用した高活性ミツマタ炭及び高活性ミツマタ炭
を活用した消臭雑貨の開発・製造・販売

<今後の抱負>

ミツマタの幹を使用した高活性ミツマタ炭を開発すること
により、ミツマタを使った商品のバリエーションが広がり、今
まで廃棄されていた多くのミツマタの幹を余すことなく活用
した、エコサイクルの事業を展開したいと思えます。また、
地域のミツマタ生産者と共に「地方から世界へ！」と、販路
拡大を目指します。

【香川県】株式会社ブラン



①代表取締役 田中 寿典 ②香川県観音寺市坂本町
7-1-1 ③5,000千円 ④50名 ⑤1989年 ⑥洋菓子製造
・販売

【認定事業】

白味噌を使用した「さぬき白味噌スイーツ」の開発・製造・
販売

<今後の抱負>

当社は、旬の素材を使用しつつ、豊富な種類の洋菓子
をお客様に提供してまいりました。
この事業では、西讃地区の白味噌を洋菓子に使うことで、
地域産業の発展に貢献するとともに、発酵食品を菓子の
原材料に使用することにより、お客様の健康にもつながる
菓子の販売を目指します。

【愛媛県】三洋興産株式会社



①代表取締役 飯尾 宝雄 ②愛媛県松山市北吉田町
393-2 ③10,000千円 ④6名 ⑤1994年 ⑥機械器具設
置業、医薬品卸売販売業、化粧品販売

【認定事業】

愛媛のかんきつを活用した化粧品等の開発・製造・販売

<今後の抱負>

当社は愛媛・瀬戸内で育まれた柑橘を使用した精油を
「媛香蔵」ブランドとして販売しています。
地域資源活用事業では、愛媛の柑橘から抽出した精油
と蒸留水を活用したボディークリーム、シャンプーなどを商品
化します。
今回の事業を通じて「媛香蔵」ブランドの強化を図り、
地域の新たな価値を創造していきます。

【高知県】有限会社和



①代表取締役 森脇 誠嗣 ②高知県四万十市中村東下
町10 ③3,000千円 ④30名 ⑤2002年 ⑥冷凍加工食品
・惣菜の製造

【認定事業】

土佐はちきん地鶏と乾燥しいたけを活用した冷凍加工食
品の開発・製造・販売

<今後の抱負>

このたび事業計画の認定を頂戴し、産地及び弊社の発
展における可能性が広がることと心より感謝申し上げます。
これまで不十分だったパッケージデザインや販促物制作を
充実させながら、テストマーケティングを積極的に進めること
によりニーズに合わせた商品づくりを目指します。商談会
の参加およびサンプルアップといった営業活動を継続的に
遂行していきます。若輩者ではございますが今後ともご指
導の程宜しくお願い申し上げます。

【愛媛県】大西水産有限会社



①代表取締役 大西 光 ②愛媛県南宇和郡愛南町福浦
616 ③3,000千円 ④9名 ⑤1982年 ⑥魚類の養殖

【認定事業】

愛媛県愛南町産「若マダイ」を使用した一夜干し・燻製の
開発・製造・販売

<今後の抱負>

当社は豊かな自然を活かし品質にこだわった養殖マダイ
を生産してきました。通常1.5kg～2.0kgで出荷しますが約
400gの「若マダイ」を使用することで、少人数でもマダイの
美しい見た目と味を楽しむことができるようになります。愛
媛の特産品であるマダイをより多くの方々に召し上がって
いただけるよう、飲食店や家庭で取り扱いやすい商品の開発
を目指します。

【認定事業者紹介:株式会社宮崎椅子製作所(徳島県)】
日経スペシャル「夢織人」に登場!

平成23年2月2日 地域産業資源活用事業計画認定 徳島県鳴門市

デザイナーズチェアを制作する株式会社宮崎椅子製作所は、「家具・建具の技術を活用したロックダウン方式(※)による木の風合いを活かしたラウンジチェア及びソファの開発・製造・販売」事業で地域資源活用事業計画の認定を受け事業を進めてきました。

中小機構では独自の技術やアイデアでオンリーワン、ナンバーワン、パイオニアの企業を取り上げるBSジャパン・テレビ大阪のテレビ番組日経スペシャル『夢織人～小さなトップ企業～』の制作に協力していますが、テレビ大阪・平成27年1月16日(土)昼12時半から(BSジャパンは同21日(木)23時から)の放送で、同社が紹介されました。

番組のタイトルは「廃業の危機から復活～宮崎椅子製作所～」となっており、化粧台の下請け製造を手がけていた同社の宮崎勝弘社長が発注元から国内製造中止を宣言され、一転、生き残りをかけてデザイナーの村澤一晃氏とともにオリジナルチェアの製造に取り組んだこと、2004年に出した作品「pepe arm chair」が「展示会でお客さんが途切れることのない」ほどのヒットとなり、それから次々とヒット作を出して国内屈指の椅子製造メーカーへと復活を遂げたことに因んでいます。

番組では同社のこうした歴史を紹介するとともに、スマートフォン・XperiaのCMIに出演したこともある著名写真家の東真子氏が同社を訪ね、椅子作りに汗を流す職人たちにインタビューを行いながら写真撮影を行いました。被写体となった本人に後日送り届けられた同氏の撮影写真からは作業に取り組む職人たちの真剣さが伝わってきます。その他、宮崎社長を含む職人たちとデザイナーの村澤氏がコツコツと時間をかけて新作の椅子のデザインに取り組む様子が紹介されるなど、視聴者は同社の職人や椅子を深く心に刻んだのではないのでしょうか。

なお、毎年新たな椅子を世に送り出し続ける同社は、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する著名な総合的なデザインの推奨制度であるグッドデザイン賞を継続的に受賞しており、これまでの受賞作品の検索サイト「グッドデザインファインダー」でもその軌跡を確認することができます。

また、同社はミラノで毎年4月に開催される世界最大級の家具見本市「ミラノサローネ」に4年連続で出展しています。国内では、番組の冒頭でも紹介されたとおり、毎年11月に東京・六本木のアクシスギャラリーにおいて展示会を開催。今年は11月22日から26日までの間、東京・六本木のアクシスギャラリーにおいて、同社がオリジナルチェアの制作を開始した2001年から2015年までに開発した椅子全74脚を展示しました。今回は全脚を揃えた特別な展示会となりましたが、アクシスギャラリーでの同社製品の展示は同時期に毎年開催されていますので、ぜひ一度ご覧下さい。

【グッド・デザインファインダー】(受賞履歴を検索いただけます)

<http://www.g-mark.org/award/>

【夢織人・過去の放送の紹介ページ】

<http://www.tv-osaka.co.jp/ip4/yumeshokunin/onair/>

【株式会社宮崎椅子製作所WEBページ】

<http://www.miyazakiisu.co.jp/>



取材に訪れた写真家の東真子氏と談笑する宮崎勝弘社長



初のヒット作となった pepe arm chair



今年で4年目の出展となった家具見本市・ミラノサローネで

※ロックダウン(KD)方式

他地域で生産された製品の部品を輸送して、輸送先の現地で組立・販売する方式。ロックダウン方式を取り入れることにより、様々な利便性が得られる半面、製品強度の確保が課題であったが、同社の木工技術と組み立て(接合)技術を組み合わせることで、品質・強度を維持しながらロックダウン化をすることが可能となった。

【認定事業者紹介:えいら株式会社(愛媛県)】

いよてつ高島屋で認定商品・真珠貝のグリッシーニを先行販売！

平成25年7月8日 農商工等連携事業計画認定 愛媛県宇和島市

愛媛県産柑橘を使ったラスクを「ラスク工房リラ」として製造・販売するえいら株式会社は、「愛媛県南予地方のイチゴと海産物を活用したグリッシーニ(※)の開発・製造・販売」事業で農商工連携事業計画の認定を受けて、試作開発を進めてきました。

(※)イタリア生まれのクラッカーのような食感のスティック状のパン。

このたび、バレンタインシーズンとなる1月28日から2月14日までの18日間、全国の高島屋でチョコの催事「アムール・デュ・ショコラ」が開催されましたが、そのうちいよてつ高島屋(松山市)7階で開催された同催事において同社が出展販売を行いました。メイン商品の「ショコララスク」とあわせて2月7日からは、認定商品「真珠貝のグリッシーニ」の先行販売を実施しました。

メイン商品のショコララスクは、柑橘を使ったフルーツラスクを甘さ控えめチョコレートでコーティングすることで柑橘の味を引き立てています。3月中は宇和島市の道の駅「きさいや広場」にある同社の販売コーナーでも入手可能ですので、興味を持たれた方はぜひお買い求めください。

また、「チョコが苦手な方に」とのPOPで先行販売した真珠貝のグリッシーニは1箱に一口サイズのそのまま食べられるものと、料理アレンジにも活用できる棒状タイプのものが1袋ずつ入っており、あこや貝の貝柱の濃厚な風味と独特のサクサク感が楽しめます。販売分の大半が売り切れ、お客様の反応は上々でした。今後は催事を含めた小売販売に加え、飲食店の個々のニーズに合わせて形状を変更したものを業務用商材として採用してもらうことを目指し、販路開拓を進めていきます。

なお、同社の主力商品であるラスクは農林水産省がバックアップする国産農林水産物の消費拡大に寄与する事業者・団体等の優れた取り組みを表彰する顕彰制度「フード・アクション・ニッポンアワード」で愛媛県のお菓子として初めて入賞を果たし、その結果として首都圏でのテスト販売など様々な特典を得ているとのことで、主力のラスクの方でも販路拡大が期待できそうです。

【えいら(株)自社サイト】

<http://www.rusk-leila.com/>



いよてつ高島屋7階催事
「アムール・デュ・ショコラ」に出店



先行販売した認定商品
「真珠貝のグリッシーニ」
1箱48g600円

高松でミャンマー会 in 四国を開催します

中小機構四国では四国経済産業局等との共催により、ミャンマーへの海外展開に関して、企業の業種や規模、海外展開の形態(貿易、海外進出など)や段階(海外展開済み、今後検討など)を越えて、様々な企業や支援機関が一堂に会し、企業間連携や交流を促す「ミャンマー会in四国(第4回)」を開催します。

【日時】平成28年3月17日(木)14時半~17時

【場所】高松サンポート合同庁舎 低層棟2階アイホール(香川県高松市サンポート3-33)

【参加費】無料

【内容】

- ・基調講演「ミャンマーへの海外進出について」(株)ハニーズ 代表取締役社長 江尻 義久氏)
- ・講演2「ミャンマーの現状について」((独)日本貿易振興機構(JETRO)アジア大洋州課 課長代理 水谷 俊博氏)
- ・ミニプレゼンテーション 住友商事(株)、(株)百十四銀行、(独)日本貿易保険大阪支店

【申込み方法】

以下のリンク先から申込用紙を入手の上、FAXで申込み(FAX:087-811-8565)

http://www.shikoku.meti.go.jp/soshiki/skh_b2/kokusai/3_event/160215/160215.html

【問合せ先】

四国経済産業局産業部国際課課長 吉田、担当者 松坂

TEL087-811-8525

ソーシャルメディア時代の広報・PR&クラウドファンディングセミナーを開催しました

スマートフォンやタブレット端末の普及に伴いソーシャルメディア（Facebook、Twitter等）の活用が進む中、企業からの情報発信、資金調達の方法も大きく変化しており、ソーシャルメディア時代の消費行動においてはいかに「共感」を集めるかが鍵となってくるといことで、中小機構では、認定事業者の皆様への資金調達・顧客獲得に関する情報提供を目的として「ソーシャルメディア時代の広報・PR&クラウドファンディング活用セミナー」を開催しました。

1月19日に開催したソーシャルメディア時代の広報・PRセミナーでは、山陽新聞社出身で現在はテレビせとうち株に在籍している有國由花氏にご登壇いただき、新聞、テレビの記者が何を考えているのか、どのような記事を、どのようにして取り上げたいと思っているのかなどについて講義いただきました。講義の後は参加者自身が持つプレスリリースできそうな話題について話し合い、発表いただきました。

2月4日に開催したクラウドファンディングセミナーでは投資型クラウドファンディングサービス「セキュリテ」を運営する株式会社ミュージックセキュリティーズ西日本支社長の杉山章子氏から制度の活用方法について事例を紹介しつつ説明いただきました。講義の後は希望者による個別相談会が開催されました。

いずれのセミナーについても参加者の満足度は総じて高く、講義に皆様熱心に聞き入っていました。次年度以降も、中小機構では事業者の皆様に興味を持っていただける実践的なセミナーを開催していきますので、ご期待ください！



銘々がプレスリリースしたい話題を出し合ってグループ内でディスカッション



クラウドファンディングについて杉山支社長が解説

高松で地域密着型金融に関するシンポジウムを開催します

四国財務局では地域密着型金融について関係者が議論・評価するシンポジウムを開催します。シンポジウムでは、地方創生の推進のために地方が優先的に取り組むべき施策や地域金融機関に求められる役割等について、有識者によるパネルディスカッションを通じて理解を深め、知見やノウハウの共有化を図ります。

【日時】平成28年3月15日(火)13時半～17時

【場所】アルファあなぶきホール 多目的大会議室(香川県高松市玉藻町9-10・JR高松駅から徒歩8分)

【参加費】無料

【内容】

- ・基調講演「地域金融のあしたの探り方」～地方公共団体と地域金融機関との協働に向けて～
(ルートエフ株代表取締役 大庫 直樹 氏)
- ・基調講演「地方公共団体との連携に向けて」～千葉銀行の取組み～
(株千葉銀行地方創生部部長遠山宏幸氏)
- ・パネルディスカッション「地方創生の推進に向けて」～地域金融機関の役割～
(コーディネーター:KSB瀬戸内海放送アナウンサー田嶋万友香氏)

【申込み方法】

以下のリンク先から申込用紙を入手の上、FAXで申込み(FAX:087-862-8798)

<http://shikoku.mof.go.jp/content/000128921.pdf>

【問合せ先】

四国財務局理財部金融監督第一課 佐藤、山本、井出上

TEL087-831-2131

